



「建築大工技能士の資格取得をめざす」

木造建築科

訓練期間 3年間（中学校卒業以上・年齢、性別、経験等不問）

学習内容

【研ぐ】

木造建築の中でも軸組工法による建築は、削る・組み合わせる等の基本的な技術の習得から始まります。

まずは、道具の手入れです。道具を使いこなすためには、丹念に磨きをかけ、自分に使い勝手のよい道具に仕上げることが肝心です。使い終われば磨く。その繰り返しが大切です。

指導者とともに砥ぎ具合を確かめながら、時間をかけて磨いていきます。プロとしての技術の基本となる学習です。



かんなの刃砥ぎは大工の命

【削る】

磨き上げた道具「かんな」を使い、一本一本の部材に磨きをかけていきます。

感触を確かめながらの作業ですが、きれいに仕上がる様子から大工としての本領を発揮する時でもあります。のみを使っての作業などは、「寸分の違い」が仕上がりのきれいさを分ける時です。生徒も真剣なまなざしで取り組んでいます。



カンナの使い方の基本が大事

今身に付けた技能が、あなたの

未来を拓く！

【原寸図製作】

製図実習も建築技術向上のための基本的な学習内容です。毎年秋に行われる「栃木県ものづくり技能大会」の課題製作を図面に起こして製作します。自分で書き上げた図面をもとに、この後、課題製作実習に取り組みます。本校ではこの技能大会に毎年出場し、輝かしい成績を残している生徒がたくさんいます。



実寸図面どり



設計図製作実習



実習授業風景



「のみ」の扱いも慣れてきました。

みんな真剣にやっているって。そりゃそうですよ。自分で身に付けた技が、自分を高めることにつながるのですもの！真剣です！



「技能五輪本校生徒作品例」

本校生徒が、毎年行われている「全国技能五輪大会」に出場し、仕上げた作品です。何度も繰り返し、自分で納得ができるまでにして作りだした作品です。



全国大会は、あなたも頑張れば夢じゃない！



「分散（事業所内）訓練」とは？…必須のカリキュラムです！

本校は、認定職業訓練の学校です。そのため、上記の本校で行う独自の授業のほかに、勤務先の事業所で行う指導員のもとでの実務経験もカリキュラムに含まれます。各事業所の先輩の方に指導していただきながら、実技を中心とした技能を身に付けることが求められます。この時間は、勤務時間内に設定されているので、特別に行うものではありません。年間およそ700時間になります。

テキスト・道具の購入について

授業で使用するテキストは、学校より支給されます。また実技で使用する大工道具のほとんどは貸与されます。道具にはその人の使いこなしにより癖も出ます。ですから、自分の道具を使うことも推奨しています。

そのほかに、実習教材費や社会科見学の費用は、学校で負担します。

学科年間の主な予定

4月	入校式
5月	社会科見学(建造物の見学)
9月	県内認定訓練校ソフトボール大会
11月	栃木県ものづくり技能大会
1月	技能検定(含む技能五輪予選会)
2月	技能照査(修了予定者)
3月	修了式

「木造建築科」授業内容と時間数

教科の科目		時間	教科の細目	
系 基 礎 学 科	1	建築概論	10	・建築の概要・建築物の種類・建築史
	2	構造力学概論	30	・力の釣り合い・荷重と外力・断面の性質・基礎と地盤
	3	建築構造概論	60	・木造建築・プレハブ建築・枠組壁建築・鉄筋コンクリート造建築 ・鉄骨造建築
	4	建築計画概論	40	・全体計画・各部の計画・計画の進め方
	5	建築生産概論	20	・機械・工程管理・資材管理・生産管理・契約事務
	6	建築設備	20	・給排水設備・電気設備・空調設備・その他の設備
	7	測 量	10	・測量一般・測量機器・敷地測量・図面及び計算
	8	建築製図	20	・製図用具及び用紙・製図通則・建築物製図の概要
	9	安全衛生	20	・安全衛生管理・安全衛生関係法規・安全作業法
	10	関係法規	20	・建築基準法・建設業法・建築士法
	小 計	250		
専 攻 学 科	1	木質構造	20	・デザインと構造・荷重と構造計画・木質構造用材料・木質構造の接合部・各部構造の設計
	2	材 料	20	・仮設材・構造材・下地材・造作材・仕上げ材
	3	規く術	30	・図版・尺杖等の作成方法・さしがね目盛・勾配・勾、玄等の名称及び長さの計算・四方転び 棒隅
	4	工作法	30	・構造材の墨付け及び切組・内部造作材の木ごしらえ及び取り付け ・外部造作材の木ごしらえ及び取り付け
	5	木造建築施工法	30	・墨付け・仕口と継手・造作・防腐及び断熱・結露防止・防音
	6	仕様及び積算	20	・仕様書・積算
	小 計	150		
基 礎 実 技	1	機械操作基本実習	70	・建築機械使用実習・CAD 操作・OA 機器操作
	2	測量基本実習	50	・平板測量・水準測量・トランシット測量・測量図
	3	安全衛生作業法	30	・安全作業法・衛生作業法
		小 計	150	
専 攻 実 技	1	器工具使用法	50	・木工機械の取り扱い・電動工具の取り扱い・木材加工用手工具の使用法
	2	工作実習	100	・木工機械及び手工具による加工実習
	3	木造建築施工実習	150	・木造建築物の施工
		小 計	300	
合 計		850		
普通学科（社会・体育等）		200		